

NOW 市政の動き・自分史

city government now
一宮市政報告新聞
一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会
6月定例議会
6月6日開会、6月29日閉会



一宮市議会議員
岡本将嗣

6月定例会 開会

はじめに、議員共済費、一宮市交通計画策定協議会負担金、東日本大震災被災地支援関係経費、日中一時支援事業給付費、地域密着型サービス施設等整備補助金、民間木造住宅耐震改修補助金、民間木造住宅耐震改修補助金、千秋公民館用地購入費が主なものです。

平成23年度6月補正予算

6月補正予算の規模は、一般会計で8億8,744万4千円の増額、企業会計で109万4千円の増額、全会計では、8億8,853万8千円の増額補正となっております。

次に単行議案の主なものは、東日本大震災被災者の負担軽減を目的として地方税法の一部が改正されたことに伴う「一宮市市税条例

の一部を改正する条例の制定」、市内在住の70歳以上のかたの平日無料制度を廃止することに伴う「一宮市ゆうゆうのやかたの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定」、「環境センターごみ焼却施設定期修繕工事の請負契約の締結」などであります。

なお、今会期中に追加提案したものに、浅井公民館建設工事の請負契約の締結、学校給食用食器の売買契約の締結、また人事案件としまして、任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任、海部俊樹氏の名誉市民推戴及びそれに伴う経費がありました。

6月定例議会

今回の、私の質問

6月14日(火)午前9時30分から

1項目

『アンケート調査でわかる、

地元町内の悩み要望』

(1) 市民ポスト・市民ファック

ス・市民メールの対応状況

年間どれくらい投げ込み情報やら、苦情・要望・意見・通報があるのか調べてみました。

市民メール・市民ポストなどにより受付された件数は、平成20年

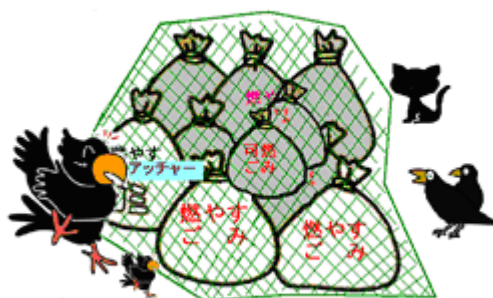
度 655件、平成21年度 690件、平成22年度 689件。なお、お寄せいただいたご意見、ご要望については、匿名での申し出意外についてはご返答をしているとの事です。今回の私の質問では、地元町内会長様はじめ連区長さん、PTA・各種団体の方々によるアンケート調査をもとに、地元の悩み・苦情・要望等を把握する意味を含め、今後地域づくり協議会に関することも合わせて徴収されました。そんななか、様々な問題点・解決策を考えるために取り上げてみました。

まず「カラスとごみ問題」についてです。指定のごみ集積所に、そこに住んで見える市民の方が利用するもので、集積場の維持管理も町内会でお願いをしているので他の方々が捨てることはルール違反である。とのことでした。ゴミ出しのマナー違反者があることも、市ではある程度認識しているはずであり、心無い方のおかげでそのゴミがもとで全てとは言いません

(答弁) 指定の集積場は、基本的にそこに住んで見える市民の方が利用するもので、集積場の維持管理も町内会でお願いをしているので他の方々が捨てることはルール違反である。とのことでした。ゴミ出しのマナー違反者があることも、市ではある程度認識しているはずであり、心無い方のおかげでそのゴミがもとで全てとは言いません

が、カラスを寄せ付けてしまい、集積場が荒され地元では大変苦労しているのが、現状であります。ゴミネットなどを利用して、カラス対策をしています。ルールを守らず出されたゴミは、ほとんどがネットをかけておらず、カラスの絶好のえさとなります。

★防鳥ネットでごみ全体を
しっかり覆う



※ごみのはみ出では効果がありません。

カラスを寄せ付けない対策は、過去の一般質問でも取り上げましたが、カラスも大変賢い動物で、「防鳥機」等で一時的に寄らなくなりますが、すぐに慣れてしまい再び飛来してくるのが現状であります。そこで、一宮市でも条例を作り有害・鳥獣として捕獲してしまえばいいかと思ひ、提案をしたところ、既に条例にはなっていないませんが、捕獲箱を市内3箇所に設置され、年間600羽から700羽ほど捕獲しているとの事です。

このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

一宮市議会議員

岡本将嗣

masashi-tantei@docomo.ne.jp

発行所：岡本将嗣事務所

住所：一宮市真清田1-3-23

連絡先：(0586) 71-1151

しかし、確保の数より繁殖のほう
が上を行き、とても退治に至らない
のが現状とも言われています。全国
野鳥の会に相談しましたが、やはり
カラスのえさとなるゴミが原因の
ひとつだと言われ、猫をぼうより皿
を引けじゃありませんが、ゴミ出し
のルール及びゴミ収集について、考
えなければ解決できないようであ
ります。

カラスに狙われても、ゴミを引き
出せないようなボックスの設置に
ついて考えられないかとの質問に
は、集積場のスペースの問題や、管
理上の面で面倒ではないかと前向
きではないので、今後試作でボック
スを作ってみますので、しばらく時
間をいただきたいと思います。

次に、ふん害についての苦情を取
り上げました。家族同様のペット、
癒してくれる可愛い動物なんです
が飼い主のマナーの悪さで、ふん害
で悩む方々が多いことも調査結果
でわかりました。これは、「一宮市
飼い犬等のふん害の防止にかんす
る条例」というのが、平成13年12月
に制定されており、現状をうかがっ
たところ、罰則を科した例はないと
のことでした。やはり、見せしめ
はありませんが罰則を科すことま

でなければ、心無い方のマナーや
ルールを守る意識向上できないよ
うではいけないと思いました。今後
の課題として、勧告、刑事告発に至
らないよう飼い主の方々も考えて
ほしいものです。

2項目

『目で見る、一宮市の今後
ジオラマ作成』

(1) 市制90周年を迎えて

今年、一宮市は市制施行90周年を
迎えました。今日私たちが、こうし
て豊かに暮らすことができるのも、
90年という長い歴史の中で、先人
がたゆまぬ努力により一宮市の伝
統・文化を育んできていただいたお
かげと考えます。

また平成17年4月1日に旧尾西
市・旧木曽川町と合併してから早い
もので6年余りが過ぎました。合併
時に策定された新市建設計画には、
“新しい一宮市”という“まちづく
りへの夢”がたくさん盛り込まれて
いました。市民病院本館・総合体育
館・斎場建設・木曽川河川敷公園尾
西緑地・JR木曽川駅周辺整備、ま
た現在進められている、一宮駅前ビ
ル・新庁舎の建設など、ハード事業
が主なものであります。
行政がこうした施設をどれだけ

整備してもそこに住む人・市民が生
き生きとしていなければ、決して住
みよいまちとはいえません。やはり
自分が住んでいるまちに、誇りと愛
着を持つことが大切であり、夢と希
望にあふれたものであるべきだと
思います。

平成24年度までに駅前ビルを整
備・平成25年度までに一宮庁舎を
建替える、このまま進めば、平成26
年春には、市中心部に駅前ビルと新
庁舎が完成し、新たな市街地の景観
が出来ることになるでしょう。



(2) 市制100周年に向かって

市制90周年の記念事業として、
駅前ビルと新庁舎が完成した後の
市街地の景観模型、いわゆるジオラ
マを制作したらどうかと提案しま
した。市民の皆さんがジオラマを見
ることで、一宮市の近未来を思い描
くことができ、将来のまちづくりに

ついで色々なアイデアを得ること
ができる。市民のアイデアを題材と
して、市民が思い描く町の未来像を
募集して、同じようにそれを仮想都
市空間として映像化することも面
白いのではないかと質問いたしま
した。市民の皆様が参加していただ
き、考える良い試みだと思っています。



100周年記念に間に合えばと、先

の長い話ではなく、新庁舎には市民
ギャラリーのスペースもあると聞
いているので、竣工記念行事の中に
盛り込んで言ってほしいと申し上
げ、今回の質問を終わりました。

市・連区内の、各行事のお知
らせ

◎ 7/7 (木) 七夕まつり

◎ 7/28 (木) ～ 31 (日)
貴船保育園
一宮七夕まつり

◎ 7/31 (日) 児童育成協議会

球技大会 貴船小学校
各町内、要望箇所の立会日として、

7月中に予定をしたいと思っています。

※地元のために、働きます。

岡本将嗣のアルバム

来月ははじめには、公民館西側に駐車
場として、新たに13台分のスペース
を西側に確保出来そうです。
街中の雨水対策として、側溝に変更
して少しでも貯留し、浸水被害を軽減
していくよう進めています。現況の集
水枡の整備も浸水地区には必要であり
ます。
わが子も、ようやく保育園に入園を
し、毎日制服と帽子をかぶって、はり
きって登園しています。子どもたちの
ためにも、一生懸命仕事をします。

